

## Q1 ドーピングとは何ですか？

**A1** ドーピングとは競技能力を高めるために薬物などを使用することで、スポーツにおいて厳しく禁止されています。

ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、治療目的であっても制裁が課せられることもあり、ルールをよく理解しておきましょう（Q8を参照）。

## Q2 ドーピングは何故いけないのですか？

**A2** (1) スポーツの価値を損なう、(2) フェアプレーの精神に反する、(3) 競技者の健康を害する、(4) 反社会的行為である、という理由で禁止されています。「する」くて「危険」な行為を容認することは健全なスポーツの発展を妨げます。

## Q3 禁止物質・禁止方法を教えてください

**A3** 禁止物質・禁止方法は、世界ドーピング防止機構（WADA）の禁止表に掲載されており、次の3つに分類されています。常に禁止される物質と方法（競技会（時）および競技会外）、競技会（時）に禁止対象となる物質と方法、特定競技において禁止される物質。

## Q4 ドーピング検査とはどういうものですか？

**A4** ドーピング検査は尿や血液を採取し、これをWADA認定分析機関で分析します。ドーピング検査には「競技会検査」と「競技会外検査」とがあります。

「競技会検査」ではすべての禁止物質と禁止方法が対象となりますが、「競技会外検査」では、禁止表の常に禁止される物質と方法（S1.蛋白同化薬、S2.ペプチドホルモン、成長因子および関連物質、S3.ベータ2作用薬、S4.ホルモン拮抗薬と調節薬、S5.利尿薬と他の隠蔽薬、M1.酸素運搬能の強化、M2.化学的・物理的操作、M3.遺伝子ドーピング）が対象となります。

## Q5 競技会でのドーピング検査はどのように行われますか？

- A5** (1) **通告**：検査対象者は競技終了後にシャベロンから通告されます。  
(2) **受付**：通告されたら、速やかにドーピング検査室に行かなければなりません。検査を拒否するとドーピング防止規則違反とみなされます。検査室には1人の付き添いが認められます。  
(3) **採尿**：採尿カップを選び、同性の検査員の立会いのもとにトイレで採尿します。  
(4) **分注・封印**：サンプルキットを選び、尿をA・B2つの検体用ボトルに分注し、封をします。  
(5) **薬物の申告**：7日以内に使用した薬物とサプリメントを申告します。  
(6) **コメント**：検査手続き中に気づいたことがあれば、補足報告書に記入します。  
(7) **署名**：公式記録書の記載内容、手続きに問題がなかったかを確認して署名します。競技者用の写しを大事に保管してください。

## Q6 競技会外検査とはどういうものですか？

**A6** ドーピングによる不正をより効果的に防ぐため、また競技者のクリーンさを証明するため、トレーニング期間中などに検査が行われます。対象競技者より提出された居場所情報などにに基づき、事前の通告なしに実施され、採尿等の手続きは競技会検査と基本的に同じです。

## Q7 検査で陽性になったらどうなりますか？

**A7** A検体の分析結果に疑わしい所見が見られた場合、本人に通知され、本人が要求すればB検体の確認分析が行われます。B検体もA検体と同じ所見であればドーピング防止規則違反となり制裁が課せられる可能性があります。なお、違反の認定・制裁内容を決定する前に、聴聞会が開かれ、本人には弁明の機会が与えられます。制裁には成績・記録の抹消、資格停止などがあります。また、選手以外にもサポートスタッフなど違反に関与した者に制裁が課せられることがあります。

## Q8 治療のため、どうしても禁止物質を使用したのですが？

**A8** 治療のために禁止物質がどうしても必要な場合には、治療目的使用に係る除外措置（TUE）を申請します。

所定の用紙（TUE申請書）に確認書と医療情報を添えて申請し、審査で許可されれば（承認書が送られる）、使用できます。ただし、治療上必要であり、他に治療法がなく、使用しても競技力を高めないものに限定されています。

TUE申請書類は、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）TUE委員会へ提出します。所属の競技団体または都道府県体育協会を經由して提出することも可能です。

なお、国際大会に参加する競技者は国際競技連盟などに提出する必要がありますので、所属競技団体に問い合わせてください。

## Q9 ぜん息治療薬の注意点は何ですか？

**A9** ①吸入サルブタモール及び吸入サルメテロールは、禁止されていませんので、TUEは不要です。

②『吸入サルブタモールと吸入サルメテロール』以外の吸入ベータ2作用薬を使用する際には、あらかじめ医療情報\*を添えて、TUE申請が必要です。

\*JADAへの提出にはJADAのホームページから「JADA吸入ベータ2作用薬使用に関する情報提供書」をダウンロードし使用してください。

糖質コルチコイドの吸入は、禁止されていませんので、TUEは不要です。

## Q10 市販の薬にも禁止物質は含まれていますか？

**A10** 市販の総合感冒薬や鼻炎の薬にはエフェドリンなどの禁止物質が含まれているものがあります。一部の漢方薬には麻黄を含むものがあり、麻黄には禁止物質のエフェドリンが含まれています。また、市販の胃腸薬の中には禁止物質の興奮薬ストリキニーネ（ホミカ）を含むものもあり、要注意です。

強精剤の一部には禁止物質のメチルテストステロン（蛋白同化薬）が含まれています。海外でサプリメントとして市販されているDHEA（デヒドロエピアンドロステロン）、および6-OXOは禁止物質です。

**Q11** 風邪のときはどうしたらよいですか？

**A11** 禁止物質を含まない薬がありますので、症状に応じて医師から適切な処方を受けてください。

**Q12** 関節に注射をしたときはどうしたらよいですか？

**A12** 糖質コルチコイドの非全身的使用（関節内注射、関節周囲注射、腱周囲注射、硬膜外注射、皮内注射、吸入）は、禁止されていませんので、TUEは不要です。

**Q13** 治療のために医師から薬を処方されていますが、大丈夫ですか？

**A13** 病気の治療薬にも禁止物質があります。たとえば、（1）糖尿病治療薬のインスリン、（2）ぜん息治療薬の内服薬・吸入薬・貼付薬・注射薬、（3）痛風治療薬のプロベネシド、（4）高血圧治療薬の利尿薬・ベータ遮断薬などです。

処方される薬については主治医から良く説明を受けて、薬物名を記録しておきます。なお製品に関する問い合わせ先は、Q14を参照してください。

**Q14** 薬品に関する問い合わせ先は

**A14** 薬品（一般薬・処方薬）に関するお問い合わせは、各都道府県薬剤師会に設置された薬剤師会ドーピング防止ホットライン、またはJADAにお問い合わせください。

JADAでは、書面、Emailにて提出されたものについてのみ対応しています。伝達ミスを防ぐために、口頭での問い合わせにはお答えしておりません。

文部科学省委託事業



2011年1月1日発行

財団法人 日本アンチ・ドーピング機構  
TEL. 03-5963-8030 FAX. 03-5963-8031  
URL <http://www.anti-doping.or.jp/>

ドーピングコントロール

Q&A

**JADA**  
PLAY TRUE  
Japan Anti-Doping Agency